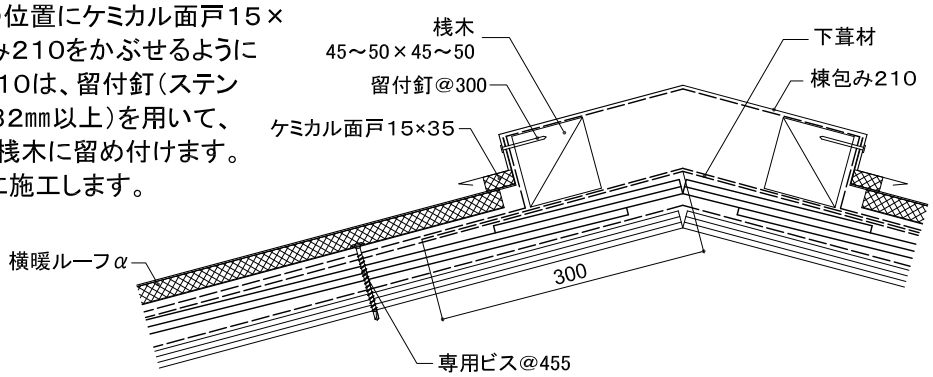
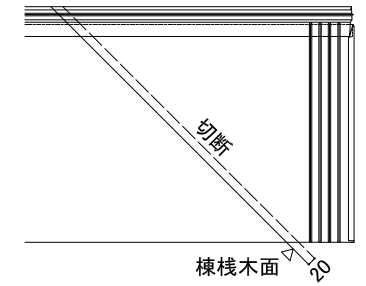
横暖ルーフα	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

7）隅棟部　　①棟包み210

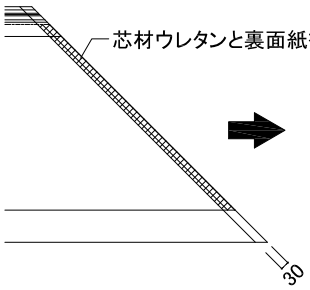
●既存屋根材に、下葺材を張ります。
●桟木45～50㎜×45～50㎜を外側2ヶ所に取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
※工事中は棟包み210に乗らないでください。工具・部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
●隅棟部は図のように加工した横暖ルーフα本体を施工し、本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、棟包み210をかぶせるように施工します。棟包み210は、留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、300㎜以下の間隔で桟木に留め付けます。
●剣先210は図のように施工します。



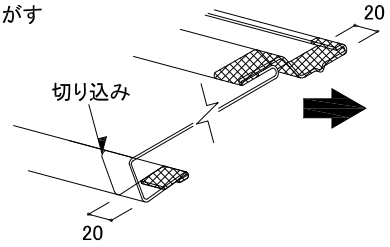
■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフα本体の隅棟部分は、図のように加工します。



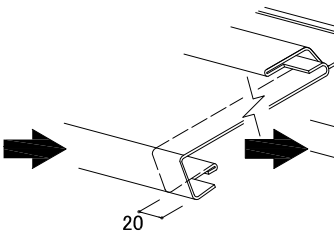
①棟桟木面から図の寸法で切断します。



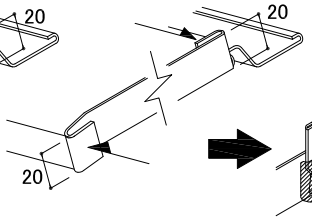
②端部から30㎜の位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がします。



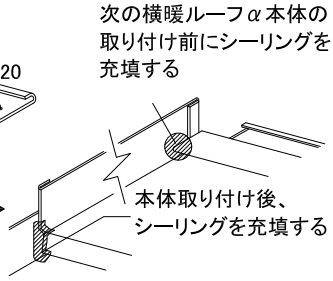
③網掛け部分を切り落とします。



④切り込みを入れた部分から垂直に起こします。



⑤Rの部分をつぶします。



⑥接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。

■剣先の取り付け
●隅棟に棟包みを使用する場合は、剣先を図のように施工します。

